

作成例

2025年度Gマーク申請 資料

評価項目「Ⅲ.安全性に対する取組の積極性」

※この資料は、作成例です。

この資料は、東京都トラック協会ホームページの会員専用ページ
（「Gマーク認定に向けて」）に掲載しています。

東京都トラック協会ホームページ → 適正化事業(Gマーク) → Gマーク認定に向けて

目 次

グループ1 運転者等の指導・教育

1 - (1)	『自社内独自の運転者研修』	
	▣ 社内研修実施記録簿（書式・作成例）	1～2
1 - (3)	「運転記録証明による事故・違反実態の把握に基づく指導」	
	▣ 指導一覧	3
1 - (4)	『安全運行につながる省エネ運転の実施と個別指導』	
	▣ 省エネ運転指導実施記録	4
	▣ 燃費管理表（走行管理表）	5

グループ2 輸送の安全に関する会議・QC活動の実施

2 - (1)	『自社内安全対策会議』等	
	▣ 安全対策会議議事録（書式・作成例）	6～7
	▣ ドライバーミーティング議事録（作成例）	8
	▣ グループK Y T 訓練記録簿（作成例）	9～11
2 - (2)	『安全に関するQC活動』の実施	
	▣ QC活動報告書	12～13
2 - (3)	『荷主企業、協力会社等との安全対策会議』の実施	
	▣ 協力会社・事故防止安全会議議事録（書式・作成例）	14～15
2 - (4)	『事故防止や輸送の安全に対する意識の向上に向けた取組』の実施	
	▣ 回覧表	16

グループ3 法定基準を上回る対策の実施

3 - (2)	『効果の高い健康起因事故防止対策の実施』	
	▣ S A S 検査の受診表	17
3 - (3)	『車両の安全性を向上させる装置の装着』	
	▣ バックアイカメラ設置 証明資料	18～19

グループ4 その他

4 - (1)	『健康器員事故防止対策に向けた取組』の実施	
	▣ 健康ミーティング議事概要（雛形）	20
	▣ 健康管理表	21

研修会			
会社名		営業所名	
実施日	年 月 日 曜日	実施時間	: ~ :
実施者名		実施場所	
教育資料名			
出席者名			
フォローアップ			
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

車両点検についての研修会

会社名	東ト協運輸 株式会社	営業所名	本社営業所
実施日	○×年 ×月 △日 土曜日	実施時間	〇〇：〇〇～〇〇：〇〇
実施者名	東京 太郎	実施場所	会議室

車両点検についての研修会

1. 日々実施している日常点検について、項目別に運転手の理解度を深める。
2. タイヤの構造についての研修

※ 座学講習後 〇〇号車を使用して、点検研修
3. 定期点検について点検項目から、運転時注意すべき点・車の構造について理解を深める。
4. 車両管理者からの注意事項

教育資料名	全ト協テキスト 「点検整備」
-------	----------------

出席者名

〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	
〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	

フォローアップ

〇〇 〇〇			
○×年○月○日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
〇〇 〇〇			
○×年○月○日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

【指導一覽】

[illegible]

省エネ運転指導実施記録

事業者名	
営業所名	

運行年月日	年 月 日
車 両 番 号	
運 転 者 名	

運行記録計貼付欄

指導年月日	年 月 日
指 導 者 名	
指 導 内 容	

安全対策会議

会社名		営業所名	
実施日		実施時間	: ~ :
議長（進行役）		実施場所	

議題内容

発言内容

結論（今後の対策）

[illegible]

安全対策会議			
会社名	〇〇〇（株）	営業所名	〇〇営業所
実施日		実施時間	： ～ ：
議長（進行役）	△△ 班長	実施場所	休憩室
議題内容 1. 右左折時における交通事故の防止について 2. 自転車との衝突防止について 会議内容 1. 右左折時における事故の防止について、様々な事故事例を参考にして全員で話し合った。交差点内における信号無視による衝突や右折時の左側からの車両への対応策を話し合った。 ・交差点の信号機の状態を早めに確認し、黄色信号が点滅したら停止するなどゆとり運転を心がける。 2. 自転車との衝突事故防止について、事故事例を参考に話し合った。 ・優先道路を走行する場合であっても、細い交差点道路等からの飛び出しがあるため、進行方向の交通状況を常に確認しながら運転することが必要。 結論（今後の対策） ・交差点で右折するときは対向車の動向をよく確認し、ゆとりをもって行動する。 ・自転車は車両が止まるであろうと考えて走行してくる場合があるので、交差点は徐行して走行する等の余裕を持った運転を心がける。			
参考資料	・右左折における事故事例（別添資料）・自転車との衝突事故事例（別添資料） ※議事録のほかに使用した資料も添付する		
出席者	出席者	出席者	出席者
東京 太郎	新宿 二郎		
四谷 一郎	東ト 三郎		
丸正 四郎	山田 太郎		

※出席者全員の名前を記載、役職員名簿にも名前の記載があるか必ず確認する。

議事録

記載例

作成日

○×年○月×日

議 題	10月度 事故防止ドライバーミーティング	進行役	新宿 進
日 時	××年×月×日 17:00~18:00		
場 所	四ツ谷営業所 会議室	記録者	市ヶ谷 二郎
出席者	曙橋 太郎、代々木 武司、荒木 花子、飯田橋 卓		

項 目	議 事 内 容
安全会議	1. トラック協会から送られてきた、事故速報の事故内容についての検証 ・ 10月11日 荒川区内の事故について、同様の事故を自社で起こさないための対策等を話し合う。
事故の概要	◎ 自転車（死亡）と事業用中型貨物自動車の事故 自転車は、日光街道（下り）を歩道から車道へ出て三ノ輪方向へ逆走して進行した際に、千住大橋方向へ進行中（一方通行）の事業用中型貨物が、発見できずに衝突したものの。
発言者 新宿 曙橋 荒木 飯田橋 代々木 新宿	発言要旨 原因は夜間の運行であること、自転車が歩道から車道に出てきたこと。この資料の内容だけでは、過失の大小は判断できないが、こういった事故を防止するために、どのような運転をすればいいか、みんなで考えていきたい。 夜間走行時は対向車等に注意しながらではあるが、前照灯を切り替え見通しをよくして走行する必要がある。一方通行ならなおさらで、ハイビームに切り替えるなどの対応が必要ではないか。 特に、分かれ道になっている箇所などは飛び出しの危険も考えられる。 自転車を見かけたら夜間に限らず、ふらつきや急な横断を予測し、間隔を十分に取る必要があるのではないか。 運転速度は制限速度内であっても、見通しの悪い場所や自転車・歩行者を見かけたら、減速をするよう常に心がける必要がる。 そうはいつでも、配達時間に迫られていると、理想通りの運転は難しい。管理側としては、無理のない配車と運行管理をするよう努力して、事故を起こさないよう、会社全体で取り組んでいこうと思う。 明日からも、安全運転・安全運行をお願いします。

【作成例①】

株式会社〇〇運送 本社営業所 第1回 〇〇〇〇年度 KYT訓練

実施：〇〇〇〇年8月27日 16:00～17:00 実施場所：本社休憩室

進行：足立部長 書記：葛飾

出席者：江戸川 墨田 荒川 目黒 板橋

資料：【トラック1】交差点の右折

交通場面の状況等	
・信号機のある交差点を右折しようとしている。 ・対向車が接近している。 ・右折先の道路に駐車車両があり、歩行者の影が見える。	・制限速度：時速60キロ ・路面：乾燥 ・天候：晴 ・積載状況：4トン車 ・運転者：年齢48歳 ・運転経歴：17年



どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか
△△：対向車が交差点に接近しており、このまま右折していくと衝突する危険がある。 □□：横断歩道の右側から自転車が渡ろうとしており、このまま右折して行くと衝突する危険がある。 ××：右折していく道路の先に駐車車両の影に歩行者が見えるが、この歩行者が横断してくるとはねる危険がある。	△□：対向車が接近しているときは、右折をせずに、対向車の通過を待ち、安全が確認されてから右折する。 ×○：右折していくときは、横断歩道の状況だけでなく横断歩道の先の情報にも注意しながら、いつでも停止できる速度で進行する。

総評（まとめ）〇〇部長

- ・対向車があるときは無理をせず対向車の通過を待つ。
- ・横断歩道の状況を確認する。特に横断歩道の右側からわたってくる自転車や歩行者は、見落としやすいので意識して確認をする
- ・右折していくときは、いつでも停止できる速度で進行する。

【作成例②】

株式会社〇〇運送 本社営業所 第2回 〇〇〇〇年度 KYT訓練

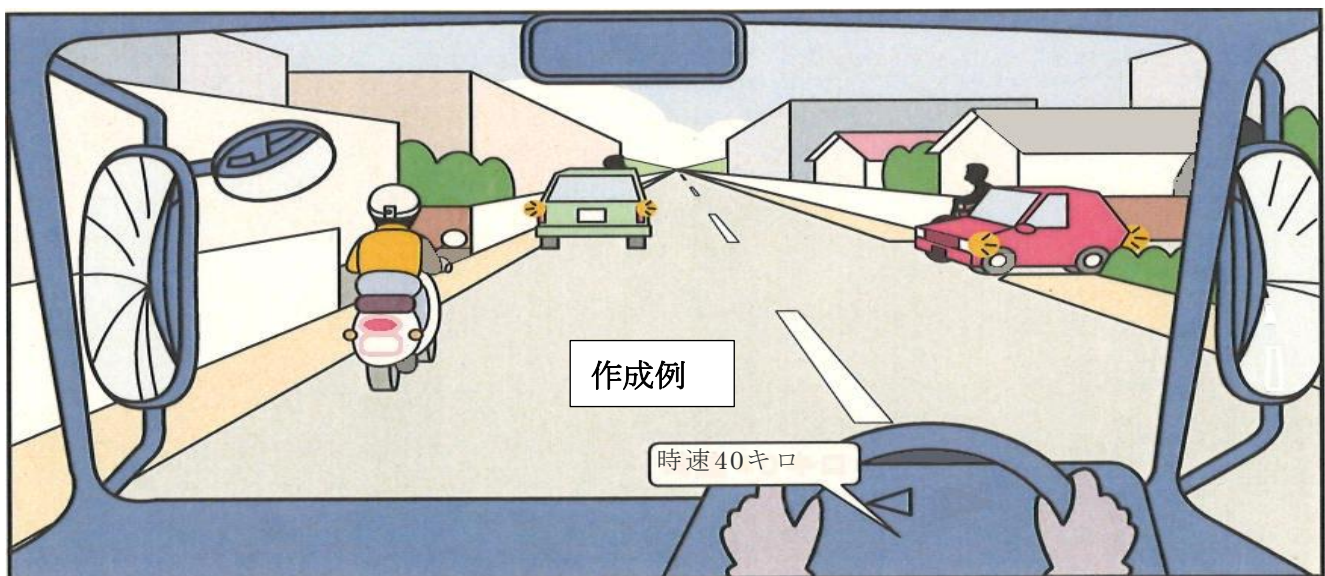
実施：〇〇〇〇年11月18日 16:00～17:00 実施場所：本社休憩室

進行：足立部長 書記：葛飾

出席者：江戸川 墨田 荒川 目黒 板橋

資料：【トラック3】住宅街の道路を走行

交通場面の状況等	
・住宅街の道路を走行している。 ・前方左側を二輪車が走行している。 ・右側の脇道から車や自転車が出ようとしている。 ・駐車車両の向こうに人影が見える。	・制限速度：時速40キロ ・路面：乾燥 ・天候：晴 ・積載状況：2トン車 ・運転者：年齢33歳 ・運転経歴：8年



どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか
△△：駐車車両に進路を塞がれた二輪車が右に進路を変更してくることが予測されるので、このまま直進すると二輪車と衝突する危険がある □□：二輪車を追い越そうとすると、前方右側の側道から出ようとしている車と衝突する危険がある。 ××：前方の右側の自転車が出てくると衝突する危険がある。又、駐車車両の向こうの歩行者が道路を横断してくると、はねる危険がある。	△□：駐車車両などで進路を塞がれた二輪車は、後方の確認をせずに進路を変更することがよくあるので、追い越さずに先に生かせるようにする。 ×○：脇道から車と自転車が出ようとしており、駐車車両の向こうには歩行者も見えるので、スピードを落として走行するとともに、脇道の車は先に行かせる。

総評（まとめ）〇〇部長

- ・あらかじめスピードを落として運行する。
- ・自転車やバイクの動きには十分注意する。
- ・駐車車両があるときは、その付近の歩行者の動きに注意する。
- ・脇道から出てくる車や、自転車は、先に行かせる。

【作成例③】

株式会社〇〇運送 本社営業所 第3回 〇〇〇〇年度 KYT訓練
 実施：〇〇〇〇年2月3日 16:00～17:00 実施場所：本社休憩室
 進行：足立部長 書記：葛飾
 出席者：江戸川 墨田 荒川 目黒 板橋
 資料：〇月〇日 〇〇号車 ドライブレコーダー映像

交通場面の状況等	
道路や通行中の車、自転車などできるだけ詳しく状況を記載する	○自車の状況を詳しく記載する。 ・走行速度 ・積載状況 ・天候、路面の状態 ・運転者の年齢、運転経験等



どのような危険が潜んでいるか	どのような運転をすればよいか
△△：発言内容を記載する □□：・・・・・・・・・・ ××：・・・・・・・・・・	△□：発言内容を記載する ×○：後でまとめやすいよう要旨を記載する

総評（まとめ）〇〇部長

- ・注意点をまとめて記載する。
- ・
- ・

QC活動 報告書

事業 者 名	
営 業 所 名	
実 施 年 月 日	
実 施 場 所	

グ ル ー プ 名 : _____

メ ン バ ー : _____

テ ー マ : _____

1. テーマの策定

2. 現状の把握

3. 改善方法

4. 改善に向けた目標

5. 活動計画

Q C活動 報告書

事 業 者 名	
営 業 所 名	
実 施 年 月 日	
実 施 場 所	

グ ル ー プ 名 :

メ ン バ ー :

テ ー マ :

6. 活動の実施報告

7. 活動の効果

8. 問題点・課題

9. まとめ

10. 今後の課題

協力会社・事故防止安全会議

会社名		協力会社	
実施日		実施時間	
進行役		実施場所	

議題内容

発言内容

結論 (今後の対策)

参考資料			
協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名
出席者名	出席者名	出席者名	出席者名

協力会社・事故防止安全会議			
会社名	A運送(株)	協力会社	B(株) (荷主)、C運輸(株)
実施日	令和6年7月20日	実施時間	14:00～15:00
進行役	東京 太郎	実施場所	休憩室
議題 ・他社の活用しているヒヤリ・ハット情報からの事故防止について ・ヒヤリ・ハット報告の集計・相互の共有方法について ・ヒヤリ・ハット活用の進め方について 会議内容 ・ヒヤリ・ハットについては、集計方法、今後への活用方法が確立されていないと集めても何の意味も要さない ので、集計方法から理解する必要がある。ヒヤリ・ハット情報から、独自のKYTシートを作成しドライバー に実施させるのも、理解を深める手法の一つではないか。 ・各社で情報を共有することで、さらなる事故防止につながるのではないか。 結論（今後の対策） ・ヒヤリ・ハット報告書の統計を集計し、事例を使用しドライバーに理解させる。 ・独自のKYTシート等を作成し、指導方法を画一する。 ・安全対策会議にて全運転者に実施させるように発表する。 ・今後の事故防止会議にて、各社で共有できるように情報交換に努める。 ※相手先会社数及び出席人数は制限がない。1名でも参加していれば対象となる。			
参考資料	・国土交通省ヒヤリ・ハット資料 ※議事録のほかに使用した資料も添付する		
協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名	協力会社名・出席者名
B(株) ○○○○	C運輸 △△△△		
B(株) ××××	C運輸 □□□□		
出席者名	出席者名	出席者名	出席者名
東京 花子	四谷 三郎		
新宿 太郎			
荒木 二郎			

※ 自社出席者と協力会社出席者は必ずマーカー等で色分けを行うこと

回 覧 表

件名					
年 月 日					
サ イ ン					
年 月 日					
サ イ ン					
年 月 日					
サ イ ン					
年 月 日					
サ イ ン					
年 月 日					
サ イ ン					
年 月 日					
サ イ ン					
年 月 日					
サ イ ン					
年 月 日					
サ イ ン					
年 月 日					
サ イ ン					
年 月 日					
サ イ ン					
年 月 日					
サ イ ン					

検 査 者 名 簿

年 月 日

会 社 名	
営 業 所 名	

[illegible]

証明資料 （バック・アイカメラの場合）



添付する資料

1. 設置車両の写真、カメラ部分のアップ写真（当該資料）
2. 設置車両の車検証の写し
3. 機能のわかる説明書等の写し（取扱説明書等）

A

自動車検査証記録事項

記録年月日 令和 年 月 日

1. 基本情報												
自動車登録番号又は車両番号												
車台番号												
登録年月日／交付年月日			令和 年 月 日		初度登録年月		令和 年 月		有効期間の満了する日		令和 年 月 日	
2. 所有者・使用者情報												
所有者の氏名又は名称					東京トラック協会運送株式会社							
所有者の住所					東京都新宿区四谷3丁目1番8号					[〇〇〇〇〇]		
使用者の氏名又は名称					***							
使用者の住所					***							
使用の本拠の位置					***							
3. 車両詳細情報												
車名					〇〇							
型式					〇〇— × ×		原動機の型式		〇〇			
自動車の種別			普通		用途		貨物		自家用・事業用の別			
車体の形状			箱型		[001]		乗車定員		4人		最大積載量	
車両重量			1730 kg		車両総重量		1950 kg		長さ		465 cm	
前後軸重			940 kg		前後軸重		— kg		後後軸重		790 kg	
燃料の種類			ガソリン		型式指定番号		〇〇		類別区分番号		〇	
4. 備考												
[], 新規登録 自動車重量税額 ¥49,200 [31年度税制] 令和3年5月10日 新規登録 令和2年度燃費基準40%向上達成車 平成27年度燃費基準20%向上達成車 平成22年度燃費基準25%向上達成車 車両安定性制御装置搭載車 車線逸脱警報装置搭載車 [走行距離計表示値] 19,000 km (令和〇年5月1日) [旧走行距離計表示値] 9,000 km (令和〇年5月1日) ハイブリッド車 平成10年騒音規制車, 近接排気騒音規制値 96 db マフラー加速騒音規制適用車 [整備工場コード] 〇-〇〇〇 番号標再交付 以下余白												

【注意事項】
記録事項はシステム登録時点の情報となります



車両ID

1 ※令和5年1月以降に車検証が交付された車両は電子車検証ではなく、添付みほんの様式の自動車検査証記録事項を添付してください。

表題：

会 社 名	
営 業 所 名	
開 催 年 月 日	
開 催 場 所	

参加者名簿 (氏名)						

議 題 :

[illegible]

健康 管 理 表

[illegible]

This image shows a full page of a document template. It consists of a series of evenly spaced, thin horizontal grey lines running across the width of the page. There are no margins, text, or other graphical elements present.